

令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市陶化老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

- ・介護保険法に基づく通所介護事業及び介護予防通所介護事業の実施
- ・京都市総合事業（介護予防・日常生活総合事業）の実施
- ・開所日：(月)～(土) 祝日も開所 年末年始の4日間は休業
- ・利用定員：40名
- ・通常の事業の実施地域：京都市南区と下京区の一部

(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

- ①事業所理念である「質の高いサービス提供」や「個々を尊重した暮らしの支援」を強く意識し、併設のケアプランセンター、地域包括支援センターとも一体となった多面的な支援ができるような取り組みの実施
- ②通所介護・介護予防通所介護事業実施とこれに伴うサービス提供（食事・入浴・機能訓練・レクリエーション・送迎・相談業務などの提供）
- ③日曜日と年末年始（12/31～1/3）を除く毎日開所
- ④通所介護計画に基づく個々の利用者の自立支援を目指したサービス提供。
- ⑤京都式選べるデイサービス等を取り入れたグループ活動の実践による心身機能の向上、生活の充実のための支援
- ⑥個々の利用者に対する相談援助と関係機関との協議
- ⑦サービス向上に向けた取組として、ユーザーアンケートの実施と情報の公表の受診、職員に対する内外研修の積極的な取組

(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

(参考) 自主事業内容

3 サービス提供状況

施設長：1名 生活相談員：2名 看護職員：3名 介護職員：10名
機能訓練指導員：1名 調理員：3名 運転手：2名 柔道整復師：1名

(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会においては、本会経理規程により、100万円以上に関しては一般競争入札に付するとし、100万円未満の委託業務に関しては、随時契約としています。一般競争の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随時契約では、市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行っています。

5 施設の利用状況(施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など)

(1) 延べ利用者数(実績値)

9161 人

(2) 実利用者数(実績値)

1081 件

(3) 収支実績

ア 令和4年度収入状況(単位:円)

介護保険収入	85,417,733
利用料収入	5,714,184
委託料収入	0
補助金収入	0
寄付金収入	0
雑収入	0
その他	56,726,063
収入計	147,857,980

イ 令和4年度支出状況(単位:円)

人件費	103,138,082
事業費	16,959,657
委託費	0
小額修繕費	0
その他	27,753,808
支出計	147,851,547

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

令和5年1月配布、2月集計 (配布数:95名、回答数:25名、回答率:26.3%)					
利用時間	: 満足52.0%	やや満足32.0%	やや不満8.0%	不満0.0%	無記入 8.0%
送迎	: 満足84.0%	やや満足16.0%	やや不満0.0%	不満0.0%	無記入 0.0%
入浴	: 満足56.0%	やや満足20.0%	やや不満0.0%	不満4.0%	無記入20.0%
食事	: 満足72.0%	やや満足16.0%	やや不満0.0%	不満0.0%	無記入12.0%
レクリエーション	: 満足36.0%	やや満足20.0%	やや不満8.0%	不満4.0%	無記入32.0%
機能訓練	: 満足32.0%	やや満足32.0%	やや不満4.0%	不満0.0%	無記入32.0%
プライバシー	: 満足44.0%	やや満足16.0%	やや不満0.0%	不満0.0%	無記入40.0%
全体	: 満足68.0%	やや満足16.0%	やや不満0.0%	不満0.0%	無記入16.0%

(2) 利用者満足度把握の結果

全ての利用者アンケートを配布しているが、回収率が低く26.3%であった。4年度は無記入の割合が非常に多く、プライバシーでは40%、レクリエーションと機能訓練に関する項目で3割以上にのぼっている。正確な満足度を把握する為にも項目の記載の依頼と、回収率の向上を図る必要がある。利用時間、送迎、食事については概ね満足頂いているが、特にレクリエーションに不満を抱かれる利用者が多い。原因としてはコロナ禍であり、様々なレクリエーション(外出レクリエーション、カラオケ、大声での応援が予想される内容のものなど)の中止を行ったことと、前年度に新型コロナウイルス陽性者が出たことに伴い、引き続き席の配置を対面からスクール形式への変更したことで以前のようにカラオケ等を楽しむことが出来ない状況であり利用者の満足度が低下したと考えられる。「不満」が多い項目を分析し今後も真摯にサービス提供に努めていく。

(3) 意見等への主な対応状況

アンケート結果を回覧にて職員間で情報共有し、職員会議や夕方のミーティングにて協議を行った。特にレクリエーションに関しては新型コロナウイルス禍である為、大声を出してのレクリエーションや複数の利用者が同じものを使うといったレクリエーションが行えず、利用者からはカラオケの再開を熱望されている状態であった。様々なサービス対して感染予防対策をしっかりと行った結果ではあるが、指摘を受けた事項等に関しては、意見を交換し、振り返りと安全に対する再確認を行う機会を持った。

7 その他特記事項

(1)

地域と共に高齢者を支える視点を持てるように法人等での研修、会議へ参加しケアの部分だけでなく、家族も含めた介護相談にも積極的に取り組み、住み慣れた地域で暮らし続けることができるように支援している。

(2)

新型コロナウイルスの感染防止対策については、感染防止対策と職員への意識の向上に取り組んでいる。

8 評価（指定管理者自己評価）

令和4年度は令和3年度と比較して稼働率が81.6%から75.1%と6.5ポイントの減少、述べ利用者数は9874名から9161名に減少している。7月に利用者1名が新型コロナウイルスに感染し営業を数日間停止した。利用控え等の影響や短時間型デイサービスの利用希望などニーズの多様化等があり稼働率が低下したと勘案する。しかしながら看取りを希望される利用者の受け入れや、長年地域に密着し地域になくはないデイサービスとして活動したこと、利用者のニーズを分析した結果「急な利用への対応を積極的に受け入れたこと」「美味しい食事」の提供が重要視されていること等をセンターの強みとして地域に発信していきたいと考えている。一方でユーザーアンケートでは「不満」と回答される項目もみられる為内容を再検討し満足度を上げる必要がある。特に4年度はレクリエーションの内容を見直しており5年度はさらに充実したデイサービスの利用となるよう努めていく。

その他、地域福祉組織やケアマネ・包括等関係機関が連携して見守り、支援を行う必要がある高齢者に関しては、デイサービスにて柔軟に受け入れ・対応を行うよう心掛けてきた。利用者はもとより障がい者への対応に関しても職員へはミーティング等を通じ障害を理由とする差別の解消に向けた理解を深めている。